

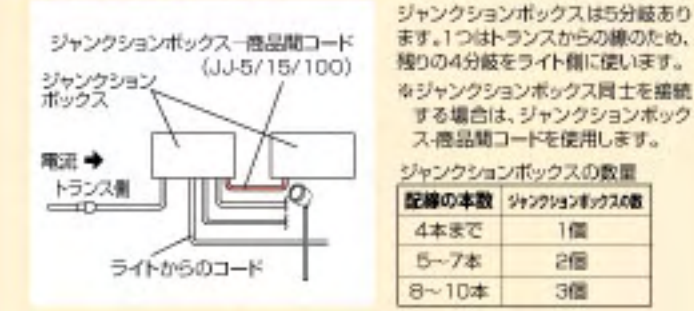
# STEP 1 照明器具のレイアウト

住む人の生活スタイルやお庭のスタイルから「光」が必要な場所を決めます。その際、目的照明と演出照明の2つを考えましょう。ライティングテクニックや照度表を参考にすると便利です。

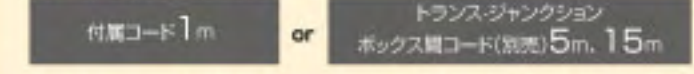


## 知っておこう! エクステリアライトの配線ポイント

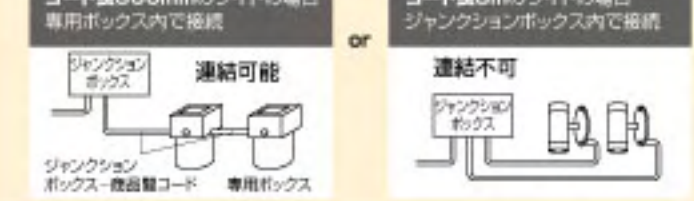
### 1. ジャンクションボックスを連結することで配線本数を増やすことができます



### 2. トランスからジャンクションボックスまでの距離を延長することが可能(別売コードあり)



### 3. ライトのコード長300mm、5mの商品で連結方法が違います



# STEP 2 トランスを選択

使用する消費電力の合計によって専用Dcトランスを選びます。トランスW数の70%が最大許容W数です。

- 0.3W×4個=1.2W
- 0.48W×1個=0.48W
- 3W×2個=6W
- 2W×3個=6W

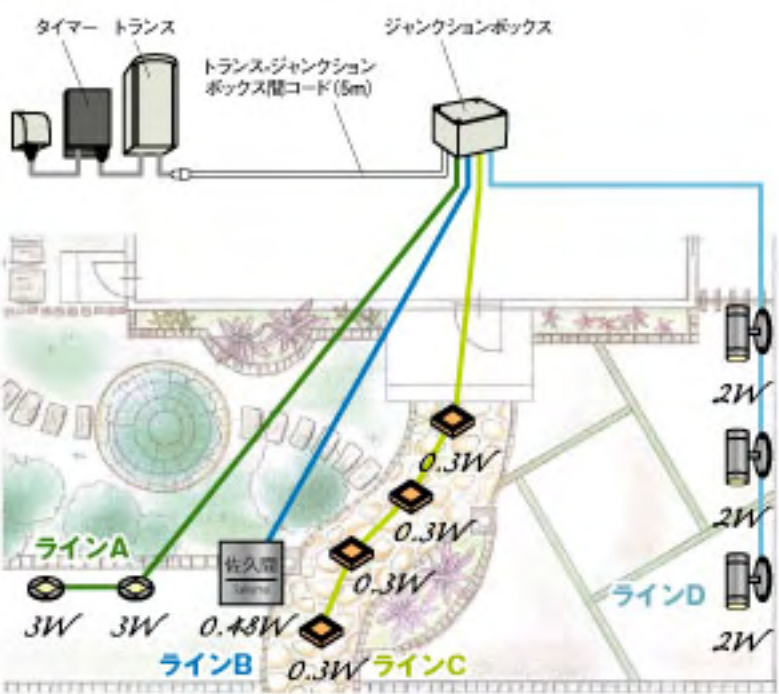
消費電力W数 合計13.68W

専用Dcトランス 6W	70%	(最大許容W数) 4.2W まで使用可能
専用Dcトランス 24W	70%	(最大許容W数) 16.8W まで使用可能
専用Dcトランス 30W	70%	(最大許容W数) 21W まで使用可能
専用Dcトランス 35W	70%	(最大許容W数) 24.5W まで使用可能
専用Dcトランス 75W	70%	(最大許容W数) 52.5W まで使用可能
専用Dcトランス 150W	70%	(最大許容W数) 52.5W×2ライン まで使用可能

上のプランでは、専用Dcトランス24W (MLT-24WB) を使用すると効率的です。

# STEP 3 配線デザイン

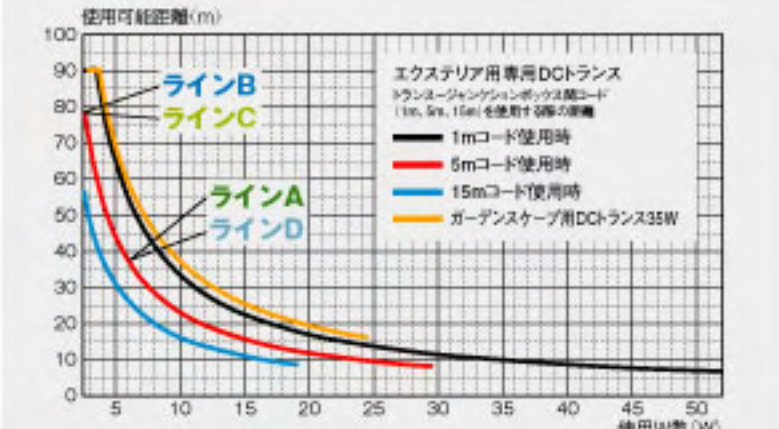
お庭の状況を考え、配線のデザインを決めます。各ラインの使用W数によって使用可能距離(トランスから一番遠いライトまでのコード長)も変わります。詳しくは下のグラフをご参照ください。



ラインA	ラインB	ラインC	ラインD
使用W数 合計6W	使用W数 合計0.48W	使用W数 合計1.2W	使用W数 合計6W
使用可能距離 37.5m以内	使用可能距離 78m以内	使用可能距離 78m以内	使用可能距離 37.5m以内

## 1ライン当たりの使用W数と使用可能距離

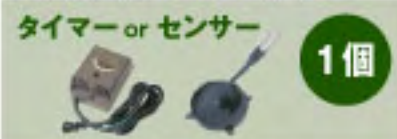
電圧降下により、1.2Vから1.1Vに電圧が下がる地点をグラフ化したものが下図です。1.1V以下でも点灯はしますが、本来の光量を得ることができません。グラフを見れば、1ラインが何mの距離まで、本来の光量を発揮し、配線可能か見てみましょう。



# STEP 4 拾い出し

必要なアクセサリはこれだけ!

自動点灯、消灯可能なシステムに



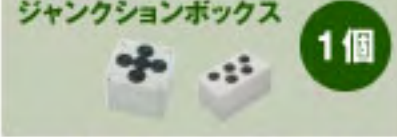
100Vから12Vへの電圧変換に



ライトの近くまで延長する際に



分岐配線に



ライトの配線接続に(ライト1つに2個使用)



※必要に応じて不燃性パイプ、自己融着テープもご利用ください

コンクリート等への埋込配線に



ジャンクションボックスと電線保護管の固定に



ジャンクションボックス同士やライトへの配線に

